

大学が行う学生の修学、進路選択及び心身の健康に係る支援に関すること

1. 新学期、新学年のオリエンテーション等の実施

新入生には大学での新生活になるべく早く慣れることができるよう、歯科衛生士についてこれから学ぶことへの心構えや選択科目の履修指導・登録、単位や資格等の説明、学則・諸規則の説明、助言班・助言教員や学友会の紹介等を行うオリエンテーションが、入学式当日を含めた講義開始前の複数日にわたって設定されています。

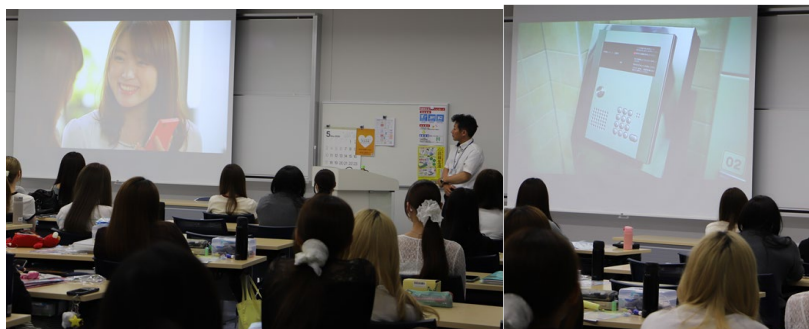
また、各学年においても当該年次科目や重要事項の説明等、安心して新学年を迎えられるようオリエンテーションを行っています。特に、3年生に対しては、臨床・臨地実習、卒業研究、国家試験対策や卒業試験のための説明等が行われます。

また、新入生に対しては、学内の避難経路や消火器の使用方法を学ぶ「消防訓練」や一人暮らしの学生も多数在学しているため、早良警察署生活安全課・交通課の方による「防犯教室」を例年4～5月に実施しています。防犯教室の内容は、交通ルールや防犯の心得等の特別講義や警察署作成のDVDの上映等です。さらに、新入生全員に防犯ブザーの配布を行っています。

【防犯教室の開催】



交通ルールに関する講義



防犯に関する講義・DVD視聴

2. 学修支援として基礎学力が不足している学生に対する補習授業等について

定期試験等の結果、基礎学力が不足している学生については、教育支援・教学IR室や学務・FD委員会で検討し、各学年担任の統括のもと、課外時間（主に放課後）を利用して補習を行っています。また、年次ごとに国家試験に対応するための基礎テストや臨床テストを実施し、成績不振者に補習を行うなど、学生の基礎学力アップと国家試験合格に向けた細やかな指導を行い、国家試験の全員合格を目指しています。課外時間の補習では、本学専攻科生が、TA（ティーチングアシスタント）として自らの経験を活かし、学修指導に携わっています。

3. 学生の健康管理の支援について

例年4月中旬に、キャンパス内で健康診断を実施しています。再検査等が必要な場合には、同じキャンパスにある保健管理センターや福岡歯科大学医科歯科総合病院で対応しています。また、B型肝炎ワクチン接種やインフルエンザ予防接種を実施しています。さらに、近年では新型コロナウイルスワクチン接種やHPVワクチン接種も積極的に実施しました。

体調不良の学生に対しては、容態や症状によっては教職員が保護者に連絡を行い、緊急の場合は学園内の医科歯科総合病院に対応を依頼する等、日常生活での健康管理を含めた支援を行っています。また、前出の医科歯科総合病院や学園内のクオール薬局での保険診療自己負担分（歯科初診療のみ・医療費の

3割)の一部を短大が負担する体制を整えています。さらに、令和4年7月に学園3大学の学生全員の心身の健康をサポートする保健管理センターも設置され、健康管理の支援が充実しました。

4. 学生の学修上の問題、悩み等に対する指導助言のための取り組みについて

学年担任の他に、各学年5～9名の学生に対して1名の教員が助言教員として配置され、原則1年次から3年間同教員が担当し、学生の学修や生活上の悩みや相談に対応します。また、下記の通りオフィスアワーを各教員設定して、その時間帯にも学生の対応を行っています。

【令和8年度 オフィスアワー】

田口 智章 学 長	月曜日	12:10～13:00	秋竹 純 講 師	水曜日	17:00～18:00
古野みはる 教 授	水曜日	16:30～18:00	中園 栄里 講 師	水曜日	16:30～18:00
泉 喜和子 教 授	水曜日	12:10～13:00	石井 綾子 講 師	水曜日	12:10～13:00
後藤加寿子 教 授	火曜日	12:10～13:00	南 レイラ 講 師	金曜日	12:10～13:00
馬場 篤子 教 授	木曜日	17:00～18:00	森 沙耶香 講 師	水曜日	12:10～13:00
堀部 晴美 教 授	水曜日	16:30～18:00	川尻 望 講 師	月曜日	12:10～13:00
黒木まどか 准教授	水曜日	16:30～18:00	常清 美佑 助 教	水曜日	12:10～13:00
井上 庸子 准教授	火曜日	16:30～18:00	高木未沙稀 助 教	火曜日	12:10～13:00

※非常勤講師への質問等は講義終了後に、兼任講師への質問等は講義終了後や口腔歯学部研究棟でも質問できます。

また、学内には専門資格（公認心理師、精神保健福祉士）を有する教員が在籍しており、学生の相談に対応しています。さらに、前出の保健管理センターには、専門のカウンセラー（公認心理師、臨床心理士）や看護師が常駐しており、学生の心身に係る相談に対応しています。また、ハラスメントに関しては、保健管理センターの他、学園内に複数のハラスメント相談員を配置し対応しています。

学修上の問題で悩みを抱えた学生は、授業担当者だけでなく学年担任、助言教員に相談する場合もあるので、学年担任や助言教員はお互いに連携を取り合うようにしています。また、種々の問題をかかえた学生に対しては、学務・FD委員会や教授会において全学的に対応する体制をとっており、学年担任のみならず、全教職員で学生を支援することを柱としています。成績や出席状況は学年ごとにメール等で周知するとともに、年に2回程度、個人表を保護者に郵送しています。さらに、成績不振や欠席の多い学生については、その都度面談を行い、状況により保護者招致を行っています。

5. 進度の早い学生や優秀学生に対する学修上の配慮や学修支援について

3年生の成績優秀者は、専攻科生の海外研修への参加も可能です。卒業試験後の国家試験までの期間は、卒業試験の成績別に補習時間や来学日を設定しています。また、規定の臨床・臨地実習終了後も希望する専門診療科で実習を行うことができる体制を整えています。

専攻科で行われる海外研修の目的は、海外の最新の歯科医療と確立された専門性の高い歯科衛生士教育に直接触れることにより、自らの職業意識と国際感覚の涵養を目指す目的で1期生より実施しています。研修では、歯科衛生士養成学科を擁する大学や医療機関等での研修・見学を行っています。また、近年は、開発途上国での歯科医療支援にも参加できる体制を整えています。

【海外研修（台湾）・開発途上国歯科医療支援（ミャンマー）】※海外研修先は年度によって変わります。



台湾研修旅行の様子

高雄医学大学、中山医学大学、台湾大学での体験学習や見学のほか、観光やショッピングも楽しめました！



ミャンマーでの歯科医療支援の様子

現地の子供への歯磨き指導や口腔内チェックを行いました。

6. 学生生活を支援するための組織や体制の現状について

本学では学生生活を支援するための主な体制として、教授会、学務・FD委員会が組織され、その他学年担任制や助言教員制度を設けています。日々の学生指導および厚生補導の学生支援体制は、学年担任の主導のもと、助言教員および事務課職員が連携しながら全教職員で対応しています。さらに、障害のある学生への支援についても規則等を作成し、修学支援体制を整えています。

学年担任や助言教員をはじめとする教職員から年間の行事や開催スケジュール、指導支援内容などの提案がなされ、学務・FD委員会を経て、教授会において審議します。その上で全教員にフィードバックし、事務課職員のバックアップのもと、教職員全員で学生指導、支援に当たっています。主な内容としては、年度初めのオリエンテーションの実施内容、前期・後期の講義・実習等に関する取組の検討、そのほか学友会、学生後援会、学園祭、研修旅行、海外研修、謝恩会、駐輪・駐車指導、生活態度、マナーの指導など多岐にわたり、常に学生のニーズに反映した取組を心がけています。

7. クラブ活動の現状、学友会の現状、学園行事（学園祭等）の実施の状況について

クラブ活動に関しては、福岡歯科大学の文化系・体育系のクラブに所属し活動しています。学内では平成25年度に学生の要望により「ダンス同好会」が設置され、学園祭でダンスを披露しています。

学園行事としては、例年5月頃に体育祭（近年開催無）、10月に学園祭が、本学と学園グループ校の学友会との共催で企画・運営され、全学生が主体的に参画できる活動の機会となっています。近年、全国的に大学における学園祭などの行事への学生の参加者が減少している風潮の中、本学では学生および教職員参加による行事と位置づけ、学園祭では短大学生による企画や各年次希望者による模擬店を出展します。学年の枠を越えて学生が協力し合い、特徴を生かした地域住民への歯科保健指導等のコーナーを設け、毎年多くの方に参加していただける催しとして定着しています。

【クラブ・同好会活動】



短大ダンス同好会



バレーボール部



バスケットボール部



弓道部

【学園祭】



短大企画「地域とつながる口腔ケア」 歯磨き指導・クイズ等



学園祭をみんなで楽しもう



歯科衛生学科学生の模擬店



短大生 ダンス同好会

8. 学生の休息のための施設・空間、食堂、売店の設置の概要について

学内には、福岡歯科大学と共有の学生ホールがあり、パン、おにぎり、カップ麺などの軽食と飲料の自動販売機や電子レンジなどが設置されています。さらに、令和4年7月に完成した50周年記念講堂には学園内の学生全員が自由に利用することができるレストランが設置されています。また、医科歯科総合病院内には、コンビニエンスストアも設置されています。学園内の体育館やグラウンド等も使用することができます。

※現在、体育館は新築準備中です。

9. 学生寮の状況、下宿・アパート等の宿舍の斡旋体制、通学のための便宜の概要について

本学には学生寮は設置されていませんが、女子学生専用学生寮やアパート・マンション等を希望する場合には、事務課から近隣の不動産業者を紹介して対応しています。通学のための主な交通機関は西鉄バスと福岡市営地下鉄があり、西鉄バスは歯科大病院前バス停より徒歩約3分、福岡歯科大学前バス停より徒歩5分、次郎丸団地バス停より徒歩8分、福岡市営地下鉄は次郎丸駅・賀茂駅より徒歩10分の所要時間です。2023年3月に地下鉄七隈線が博多駅まで延伸したことにより交通の便が格段に良くなりました。また、学内には通学用の駐輪場と駐車場（30台程度 年間使用料：15,000円）を設置しており、多くの学生が自転車やバイク、自動車で通学しています。

10. 日本学生支援機構等の外部奨学金及び本学独自の奨学金について

（1）外部奨学金

現在取り扱っている外部奨学金では「日本学生支援機構奨学金」（第一種、第二種）の受給者が最も多く、令和7年度実績は、第一種奨学金は歯科衛生学科50名・専攻科1名、第二種奨学金は歯科衛生学科57名・専攻科3名です。また、令和2年度からは、高等教育の修学支援新制度の対象大学として認定され、現在、歯科衛生学科84名・専攻科5名が受給しています。高等教育の修学支援新制度は、しっかりとした進路への意識や進学意欲があれば、家庭の経済状況に関わらず、大学、短期大学、高等専門学校、専門学校に進学できるチャンスを確保できるよう、文部科学省が2020年4月からスタート

した制度です。本制度は、すべての大学、短期大学、高等専門学校、専門学校が対象となるわけではなく、大学等における修学の支援に関する法律に基づき、一定の要件を満たすことの確認を受けて対象機関となることができます。※詳細は https://www.mext.go.jp/a_menu/koutou/hutankeigen/index.htm をご覧ください。

この他にも、「山口県ひとつくり財団奨学金」、「ふくわ奨学金」等があります。

(2) 本学独自の奨学金制度

【福岡医療短期大学一般選抜特別奨学生制度（返還不要）】

令和6年度入学者選抜より新設された制度で一般選抜受験者（専願制・合格した場合入学を確約できる者）から選考され、入学金が免除されます。令和8年度実績は1名でした。※選考基準等は当該年度の学生募集要項をご覧ください。

【福岡医療短期大学学校推薦型選抜指定校推薦特別奨学生制度（返還不要）】

令和6年度入学者選抜より新設された制度で学校推薦型選抜指定校推薦受験者（合格した場合入学を確約できる者）から選考され、入学金が免除されます。令和8年度実績は5名でした。※選考基準等は当該年度の学生募集要項をご覧ください。

【福岡医療短期大学特別奨学生制度（返還不要）】

各学年若干名の学業成績優秀者に推薦され、授業料の半額が免除されます。令和7年度実績は7名でした。

【福岡医療短期大学学生後援会口腔介護支援基金（返還不要）】

口腔介護を推進する歯科衛生士を目指す学生を対象とした教材購入費の一部を給付する修学支援制度です。（入学後、提出書類等により選考）

【株式会社フクデン修学支援制度〔離島推薦入学者対象〕（返還不要）】

令和7年度入学者選抜より新設された制度で、離島推薦入学する学生の学びを支援するため、教材購入費の一部を本学と修学支援に関する連携協定を締結している【株式会社フクデン】が給付する制度です。※詳細は当該年度の学生募集要項をご覧ください。

【福岡医療短期大学学び直し修学支援制度〔社会人選抜入学者対象〕（返還不要）】

令和7年度入学者選抜より新設された制度で、社会人経験を経て歯科衛生士を目指す志を持つ受験生を支援するため、教材購入費の一部を給付する制度です。（入学後、提出書類等により選考）

1 1. 資格取得支援（介護職員初任者研修修了資格）について

歯科衛生学科では、卒業後、就職先での訪問歯科診療時における口腔保健管理に役立つよう1～3年どの学年でも選択可能な自由科目「介護研修」を選択することにより、介護職員初任者研修修了資格を取得できるカリキュラムを実施しています。 ※本科目は、休暇期間中の集中講義により実施しています。

1 2. 進路支援について

【就職支援】

近年、一般的に、若年層の働くことに対する意識は多様化し、安易にフリーターなどの道を選ぶ学生が比較的多くなってきていますが、本学は国家資格である歯科衛生士を養成する短期大学であるため、就職希望率および求人倍率・就職率はともに高い状況です。就職を支援するための組織として、就職支援担当教員に加え、事務課職員も協力して、学生が就職に関して気軽に相談できる体制をとっています。本学に來た求人票や求人情報を取り纏め、個々の学生の希望や問い合わせなどに対応するとともに、卒業生アドバイザーによるキャリアガイダンスの実施、個別の就職相談や履歴書の添削、面接書類の作成および面接指導、学生の希望および適正を考慮しながら求人情報の提供や助言等のきめ細かな指導を行

っています。

求人票や就職情報については、学生が閲覧することができるよう1階に設置している就職関連情報専用スペースを設置し、地区別にファイリングされた資料を閲覧できる体制を整えています。また、オンラインでの面接を受ける学生には、カメラ付きのノートパソコンの貸出も行っています。

令和元年度からは、同年度から開始した学外の開業歯科医院での臨床実習の実習先歯科医院や企業等に参加を依頼して就職ガイダンスを開催し、学生の就職へのモチベーションアップに努めています。

【進学支援】

毎年20名前後の学生が本学専攻科へ進学しています。また、グループ校の福岡歯科大学口腔歯学部（2年次編入）に編入する学生もいます。編入学や進学希望者に対しては、学年担任、助言教員が相談に応じています。

1.3. 留学生・社会人・帰国子女・障害者の受け入れ状況及び学修支援・生活支援について

本学では、学修意欲を増進させる取組を継続的に検討・実施し、多様な適応能力の育成をめざし門戸を広げて受け入れています。これらの多様な学生に対しては、入学前より学年担任を中心に個別に対応できるよう、組織的な学修支援および生活支援を行える体制を整えています。また、障害のある学生への合理的配慮を実施する体制も令和6年度より整備しました。また、近年は、入学者が少なくなっていますが、社会人の受け入れも積極的に行っており、令和7年度入学者選抜から「社会人選抜」を新設しました。

令和4年度～令和8年度 多様な学生の受け入れ状況

種 別	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	計
留学生（人）	0	0	0	0	0	0
社会人（人）	1	1	1	3	0	6
帰国子女（人）	0	0	0	0	0	0
障害者（人）	0	0	0	0	0	0

※ 社会人の定義（受験資格）： 本学出願資格のいずれかの条件を満たし、入学年4月1日現在満22歳以上で1年以上の社会人経験を有する者

1.4. 学生の表彰制度について

前出の特別奨学生制度のほかに卒業式において表彰する理事長賞、学長賞を設けています。理事長賞及び学長賞は、「在学中、学業成績が優秀だった者」に対して授与しており、毎年、理事長賞は1名、学長賞は1～2名が受賞しています。これらの受賞者は、卒業式において記念品を添えて表彰されます。

1.5. その他の支援

平成16年、東釜山大学校歯衛生科と本学歯科衛生学科は、アジアにおける歯科衛生士教育に関する情報交換と国際交流を目的に姉妹校協定を締結しました。これを機に平成17～25年度には、5月に東釜山大学校2年次生が本学を、9月には東釜山大学校歯衛生科主催の「デンタルサイエンスDPC」(The Dental Science DPC)の開会式に本学3年次生が参加し、互いに異文化の理解と同じ職種を目指す学生同士の交流を深めました。平成26年度は、9月に同大学から教員を含め37名が来学し医科歯科総合病院等を見学し、本学学生との交流も深めました。現在は、協定校だった東釜山大学校が2020年に閉校となったため、研修旅行は国内で実施しています。近年の研修先は大阪・京都で、株式会社モリタ京都製作所で診療台の進化の歴史にふれたり、大阪でユニバーサルスタジオジャパンを満喫したりと、ほぼ全員参加で実施しています。

【国内研修旅行：大阪・京都】



株式会社モリタ京都製作所にて研修

京都 渡月橋をバックにみんなで記念撮影



大阪 ユニバーサルスタジオジャパンにて